令和6年度 大田区立東蒲小学校 自己評価 報告書

令和6年3月7日

○ 本校の概要

児童数224名、学級数10、教員数26名である。研究指定は、東京都教育委員会による「令和6・7年度小学校教科担任制等推進校」、大田区教育委員会による「令和6・7年度大田区教育委員会研究推進校」及び「令和6年度大田区教育委員会おたの未来づくり研究実践校」の3本を受けており、研究を通して「未来を切り拓く力」を育成する。特色ある教育活動として、経済産業省働き方改革支援補助金2024探究的な学びに資する民間サービス等活用促進事業によるタグラビー、年間を通じた予告なしの避難訓練、一輪車などの外遊び推奨、小規模校のよさである全学年仲良しが挙げられる。また、小規模校であるので、1年生から専科授業（音楽・図工）があり、専門性の高い授業を行っている。近隣に大田区総合体育館、大田区立蒲田図書館、産業プラザPioがあり、様々な連携している。学区には、東蒲田一丁目町会、東蒲田二丁目町会、東蒲田二丁目町会の4町会があり、支えられている。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄										
								評価	人数	コメント								
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育未 来社 会を 創 造 的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	児童アンケート「授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	3	・令和6・7年度東京都教育委員会小学校教科担任制等推進校、令和6・7年度大田区教育委員会教育研究推進校、令和6年度大田区教育委員会独自教科新設に向けた研究実践校の研究指定を受け、研究を強力に推進した。創造的な資質・能力育成の系統表を開発し、10月のおたの未来づくりエリア協議会では、パンフレットを作成し、先進校として蒲田東・六郷エリア11校へ情報を提供し、次年度新教科の見通しを示し、他校の研究主任を導いた。	A	11人	・昨年度から本年度にかけて問題解決のために協力し合う姿勢がうかがえる。自分の意見をはっきりと述べるができる。STEAM教育では特にScienceとArtの分野に秀でた面を見受ける。教員の指導の成果と考える。								
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。								4:90%以上 3:80%以上90%未満	B	2人	・主体的に考え、他者と協働していく力を付けるために様々な経験の場を作り、自己評価を習慣化させるよい取組と考える。				
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												1:70%未満 →高学年:85.2% 中学年:87.4% 低学年:87.7%	C	0人	・項目1～6までは学校内の方向性、成果指標、改善策でコメントするのは難しい。
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。															
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	・学校内外での様々な体験活動はできた。自立する学習者を育成するためには、児童主体の学びを教員が更に意識して改革していかなければならない。																	
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		・デジタル学習基盤を生かした新しい授業スタイルへの移行が十分とはいえない。改善策は、主体的・対話的で深い学びによる授業改善を不断に行う。																
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			・先日見せていた学芸会では子どもたちが自ら考えた衣装や台詞が用いられたと聞きませ。5年生のお茶作りもそうですが、子どもたちの考えを引き出し生かす活動を行っているのがよくわかります。															
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				・どの集会も子どもたちが生き生きと活動していて男女問わず仲良くしている様子も見られ、学校が子どもたちの関心・意欲を大切にしていると感じます。														
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり、職業に就いたりしたいと思う。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	1	A	10人	・中学での指導経験のある英語専科と2名の外国語教育専門員が協力して、コミュニケーションを重視した授業を実施してきた。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・児童アンケート結果が期待するよりも低い結果となっている。どの学年も70%未満となっていることから、積極的に英語を使う生活や、職業に就いたりしたいと思っていないことが分かる。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満 →高学年:57.4% 中学年:72.1% 低学年:64.4%										C	1人	・2月の学校公開日の6年生の授業で、子どもたちがいるいろいろな人物に焦点をあてて話をしていたが、世界で活躍している人物を子どもたちが取り上げていた。国際社会に関心をもたせる取組だと感じた。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人	・地域に外国籍の方が増加している中、生活の中に英語を取り入れていくことの必要性を感じる。	
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・特に高学年の児童が学習に対する意欲が高く、それをお互いに競争するよい面がある点は注目したい。このような環境の醸成が何よりも必要かと思われる。全学年に普及させたい。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・東蒲に来て何より驚くのは、多少の雨でも休み時間外遊びができることです。体を動かして遊ばせたいという思いが伝わってくる。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満 →高学年:98.3% 中学年:95.0% 低学年:84.9%										C	0人	・放課後ひろばでもタブレットを使って学習する子が多いです。いろいろなアプリを使っていて、現代の子たちだなぁと関心します。またプログラミングでちょっとしたゲームやアニメーションを作る子もいてすごいなぁと感じる。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人	・一人一人の特徴を見極めた関わりをもち、周囲が認めた環境の中で、豊かな人生を歩める基礎となる力の育成が必要と感じる。	
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学びと協働的な学びにつながる「オクリンプラス」を積極的に活用し、デジタル学習を生かした新しい授業スタイルに挑戦している。			
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。				D												0人		
4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4				児童アンケート「学校の授業はよくわかる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	4	A	11人	・週1回の道徳の授業、遠足や移動教室などの校外学習による体験活動、異学年交流などを通して、豊かな心を育んでいる。									
3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		4:90%以上 3:80%以上90%未満								B	2人	・授業の中で、導入でめあてを明確にしたり、終末でめあての振り返りを行っている。						
2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			1:70%未満										C	0人	・タブレット端末の個別最適な学び			

学個別 校力 ・標 教4 師力 を向 上さ せま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	保護者アンケート「学校は、校内研究や校内研修を通して、教師の授業力向上に努めている。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した保護者の割合が、	4	・児童主体の学び、主体的・対話的で深い学びによる授業改善、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による授業改善を行っているが、不十分な部分もあるので一層推進していく。 ・今年度は、OJT主任を新設し、教員一人一人が講師となり自分の得意なことを一人一回以上伝授するOJTを実施し、合計30回になった。	A	11人	・児童が主体となってOJTの充実を図るためにも、児童それぞれが教える立場を経験する試みも必要かと考える。本校は教師の質が高く、児童の力を引き出すことに成功している点に注目したい。 ・こどものことで担任の先生に相談に行くといつても快く対応してくれ、適切なアドバイスをしてくれます。一人一人のこどもをよく見ているのが分かる。 ・こどもの宿題のノートを見ていると一人一人に長文でコメントが書いてあり、放課後も遅くまでお仕事をされている様子を見て頑張っているのを感じている。	
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3				4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70% →100%のため、4	B		2人
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	4					C		0人
									D		0人
た自個 め分 別の 目 学し 標 びく 5 をい 支 援い き ま と す 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整え、相談機能の充実を図ること、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	児童アンケート「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が、	3	・発達障害についての理解促進研修の実施、巡回心理士、発達障がいを支援アドバイザーによる助言を指導生に生かしている。 ・11月・2月のこどもの心サポート月間では、全学年でいじめに関するアンケート(学期に1回)や第3～6学年で学級集団調査(WEBQU)を実施し、児童の学校生活における不安や悩みを早期に発見し、必要に応じて面談を実施し、スクールカウンセラー及び関係諸機関を活用して組織的に対応している。 ・大田区いじめ防止基本方針・東蒲小学校いじめ防止基本方針に基づきいじめ対策委員会を設置し、年間3回以上いじめに関する授業及び教員研修の充実と組織的対応を図るとともに保護者・地域・関係機関と連携して、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組んでいる。また、「いじめをゆるさない」という児童の自治の力を教育活動全体を通して育成する。	A	11人	・私が接している児童に関しては包摂的(インクルーシブ)に相手を尊重する面が感じられる。いじめに関しても弱い者をいじめるのではなく、ふざけていて結果としていじめに近いものになっているように見受けられる。いじめに関してはあまり多くないと思う。 ・学年をまたいで一緒に遊んでいる姿を見ます。学年の垣根を越えることは仲間意識が広がりが素晴らしいと思っています。 ・教員室等にこどものことで相談に伺ったときに担任の先生以外でもその子のことをよく知っている、先生同士がチームでこどもを見てくれているのを感じる。 ・放課後や休み時間に教室や校庭を通ると、先生の周りにこどもたちが集まり、話をしたり遊んだりしている姿をよく見かけます。こどもたちが先生方を頼りにしているのがよく分かる。	
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。	4				4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満 →高学年:85.2% 中学年:79.7% 低学年:87.6%	B		2人
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4					C		0人
									D		0人
安柔個 心軟別 なで 目 教創 標 育造 環的 境な を学 習空 間と 安全	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	保護者アンケート「学校は、こどもに安全指導を行い、学校の安全体制もできている。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した保護者の割合が、	4	・毎月一回の全教員による安全点検を実施し、その後安全衛生会議を開催し、児童の安全・安心を最優先に考え、故障箇所などを速やかに修繕している。 ・今年度5月から、避難訓練は全て予告なしで実施し、緊張感をもって児童は取り組んでいる。	A	11人	・本校では特に指導する立場の教員に地域との結び付き、また接点を持つことに積極的であると見受けられる。予告なし避難訓練も重要な取組だと考える。 地域での訓練も行えると良いかと思う。 ・放課後ひろばでも避難訓練を行うのですが、東蒲のこどもたちはいつも真剣に取り組んでいて職員が注意しなくても「おかしも」を守って動いている。日頃の学校での指導のおかげだと思う。	
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4				4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満 →98.4%のため、4	B		2人
									C		0人
									D		0人
学地学 校域校 別を コ・目 つミ家 庭7 リニ ・ま テ地 域の 核連 と携 し て協 働に よる	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	保護者アンケート「学校は、地域・社会の教育力をこどもたちの教育活動(授業や夏休みサマースクール等)に生かしている。」の質問に対し、「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した保護者の割合が、	4	・スクールサポートとうほ連携して、サマースクールを行っている。今年度は、初めてオータムスクール2回、ウィンタースクール3回も実施した。 ・登下校の見守りはPTA及び町会の協力で実施している。そのため、大きな事件・事故は発生していない。 ・家庭教育に関する情報の発信など、今後の課題として取り組んでいきたい。	A	12人	・土屋さん、柳町さんの登校見守りにおいて、児童は挨拶もよくできる。地域の(特に町会役員)本校児童、学校との関係をもう少し回数を増やしたい。保護者に関しては、熱心さを感じている。 ・地域の自治体として行事等の活動について連絡致し、生徒の参加を依頼しコミュニケーションをとりたい。 ・蒲田図書館の多目的室において毎週水曜日の午後、「すけっとくらぶ」という居場所事業を近隣の人たちがボランティアとして参加して実施しており、たくさんの東蒲小の子ども達にぎわっている。 ・とうめ茶は、素晴らしい企画だった。 ・先日、2年生のまちたんけんの報告会を見させていただけだ。5年生の総合で取り組んでいるお茶屋さんをはじめ、近隣の施設と協力しながら授業づくりをしているのが分かった。 私も今朝の読み聞かせに参加させていただいていますが、夏休みのサマースクール等々、放課後ひろばで協力できることもあると感じられた。	
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4				4:90%以上 3:80%以上90%未満 2:70%以上80%未満 1:70%未満 →100%のため、4	B		1人
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	2					C		0人
									D		0人

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載